

笑顔と

神奈川県立金沢支援学校

やさしい心



学校だより



学校ホームページ

第 226 号 令和 8 年 9 月

長い夏休みが終わり、新しい学期がスタートしました。始業式の朝、児童生徒の皆さんが元気で明るい笑顔であいさつをしてくれ、とてもうれしく思いました。また皆さんと一緒に学校生活を送れることが楽しみです。新しい気持ちで、元気いっぱいにスタートしましょう。

さて、9月1日に2学期の始業式を行いました。校長の話の中で、「ありがとう」という言葉を大切にしてくださいという話をしました。「ありがとう」という言葉は、言った人も言われた人も心が温かくなり、幸せな気持ちになります。友達や先生方ともっともっと仲良くなるために、この言葉をたくさん使ってほしいと思います。

2学期は、毎日の授業の中にも楽しい活動がたくさんありますが、特に、学習発表会や修学旅行、遠足などの行事が待っています。みんなで協力し合い、思い出に残る素敵な時間にしてほしいと思います。

車いす引き上げ訓練を行いました

本校の校舎は、1階が海拔3.5m、2階が海拔7.8mですが、大地震が発生した時には、4mの津波が来ることが想定されています。そこで、大地震が発生したことを想定し、車いす引き上げ訓練を8月28日に実施しました。当日は、横浜市消防局署員の方をはじめ、地域の防災ボランティアの皆さんや保護者の皆さん、第一機動隊の方にもご参加いただきました。この引き上げ訓練の成果を、今後の避難訓練にも活用し、有事に備えていきたいと思います。

ともに生きる社会の実現に向けて

この7月26日で、県立津久井やまゆり園で、19人が死亡し27人が負傷するという、大変痛ましい事件があつてから10年になりました。このような事件が二度と起こらないよう、県では、「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しています。憲章は、次のような内容になっています。

- 一 私たちは、温かい心をもって、すべての人のいのちを大切にします。
- 一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことができる地域社会を実現します。
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します。
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます。

「ともに生きる社会」を実現するための取組の一つとして、書家の金澤翔子さんが県立特別支援学校29校に、すべて違う一文字を書いてくれています。本校では「道」という書(千葉昭夫氏寄贈)を昇降口の支援スペースに展示しています



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

(校長)

「職業」の授業では、作業学習や実践的なトレーニングを通して、働くために必要なスキルや態度の育成に取り組んでいます。今回は、生徒たちが自分の強みを発揮しながら生き生きと活動している授業の様子や作品をご紹介します。



分教室

今年度の職業の授業では、「手工芸班」「環境整備班」「事務サービス班」の3班に分かれ、3学年が協力しながら作業に取り組んでいます。上級生が作業の進め方を示し、下級生がその姿から学ぶなど、学年を超えたつながりも育っています。

手工芸班では、コースター製作を進めています。衛生面に配慮してバンダナを着用し、クロスステッチやスウェーデン刺繍などの細かな工程に集中して取り組んでいます。ミシン作業を担当する生徒もあり、それぞれが責任をもって役割を果たしています。

事務サービス班では、学校要覧の帳合や企業から依頼された作業に取り組んでいます。シールはがしなどの作業では細部まで確認しながら丁寧に仕上げ、正確さと根気を養っています。

環境整備班では、図書室の清掃や近隣施設での活動を行っています。書籍や施設を大切に扱いながら、下駄箱周辺の清掃や食器洗いなどにも取り組み、学校や地域を支える役割を担っています。

今後も、各班の活動を通して、生徒一人ひとりが社会参加に向けた力を育んでいけるよう支援してまいります。

(横浜氷取沢分教室長 遠藤 聡)



高等部A部門

高等部A部門では職業の授業に地域とのつながりを大切にした活動に取り組んでいます。近隣の施設であるシーサイドおもちゃ文庫の方から依頼を受け、季節に合わせた壁面装飾を制作しています。生徒一人ひとりのできる手の動きや活動を生かし、春は桜の滲み絵、現在は海の生き物をテーマにした装飾を作っておもちゃ文庫で飾って頂いています。また、学習発表会での販売に向けて香り袋サシェ作りにも取り組んでいます。地域の公園から頂いた紫陽花をドライフラワーにし、細かくする作業やスイッチでミシンを動かして袋を縫う作業など、それぞれができる方法で製品づくりに参加しています。制作から納品や販売までの経験を通して、地域とつながりながら社会の中で自分の力を生かす学びにつなげていきます。

(高等部A部門 学部長 荒井将太)



高等部B部門の「職業」紹介は、3月号にて掲載させていただきます。